

難聴, 聴覚・平衡覚異常感の診断、治療のため

当院に入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた 臨床研究に対するご協力をお願い

研究責任者

所属 杏林大学医学部耳鼻咽喉科学教室

職名 准教授

氏名 増田正次

連絡先電話番号 0422-47-5511

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、増田正次までご連絡をお願いします。

1 対象となる方

西暦 2005 年 1 月 1 日より 2027 年 4 月 1 日（予定研究終了期間）までの間に、杏林大学病院耳鼻咽喉科外来にて難聴、聴覚・平衡覚異常感の診断、治療のため入院、通院し、診療、手術、検査などを受けた方。具体的には、感音難聴を生じる各種疾患（加齢性難聴、特発性難聴、突発性難聴、低音障害型難聴、メニエール病、遺伝性難聴、聴神経腫瘍など）、伝音難聴を生じる各種疾患（慢性中耳炎、真珠腫性中耳炎、滲出性中耳炎、耳硬化症、中耳奇形、外耳道狭窄、外耳道腫瘍、中耳腫瘍など）、耳管狭窄症、耳管開放症、各種聴覚異常感（耳鳴、聴覚過敏、耳閉塞感、自声強聴、自己呼吸音聴取など）、各種平衡異常感（いわゆる「めまい」）に対して、当科にて各種聴覚平衡機能検査（純音聴力検査、語音聴力検査、他覚的聴力検査、耳管機能検査、前庭機能検査など）および画像検査（CT, MRI, 内視鏡など）を受けた方。

本研究への協力を望まれない方は除外します。

2 研究課題名

難聴、聴覚・平衡覚異常感の予後因子に関する臨床的検討

3 研究実施機関

杏林大学医学部耳鼻咽喉科学教室・杏林大学医学部附属病院耳鼻咽喉科

4 本研究の意義、目的、方法

難聴、および聴覚・平衡覚異常感の罹患頻度は、これからの超高齢者社会において、さらに増加することが見込まれています。難聴、聴覚・平衡覚異常感の診断では、様々な聴覚平衡機能検査や画像評価が臨床では行われていますが、どのような検査結果と症状の改善が関連しているのか、未だ判明していない部分が多くあります。また、聴覚検査の進歩や画像診断技術の向上に伴い、難聴、聴覚・平衡覚異常感の臨床へも複数の新しい検査法が導入されてきていますが、実際にどれくらい有益であるのか、世界的にみても結論が出ていない検査所見が数多く存在します。

そのため今回我々は、過去 10 年以上にわたって難聴、聴覚異常感を主訴に当科外来を受診した方に対して、臨床の現場で行った検査結果と予後との関連を解析する臨床研究を計画しました。

5 協力をお願いする内容

診療録の閲覧、各種聴覚平衡機能検査結果、各種画像検査結果、治療の結果を分析対象とすること。

6 本研究の実施期間

研究許可日～2027 年 4 月 1 日（予定）

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。医学部倫理委員会に承認された破棄時点で完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

氏名：増田正次

所属：杏林大学医学部耳鼻咽喉科学教室

連絡先：0422-47-5511

F A X：0422-42-5968

対応する時間帯：平日午前 9 時から午後 5 時まで。ただし当病院の休診日を除く。また、診療中、手術中などの理由で対応ができない場合には、後日のお問い合わせをお願いさせていただきます。

以上